

# 開業時を振り返って

経理 永井和江

永井医院はおかげさまで今年 20 周年を迎えました。患者さんや地域の方々、取引先の業者さん、スタッフの皆さんに深く感謝を申し上げます。

平成 10 年 5 月に地鎮祭を行い、11 月の開業までに余裕をもって建物が出来上がる予定でした。しかしその年は雨が多く、出来上がったのは開業ぎりぎりでした。11 月 3 日の文化の日に内覧会を開いて、地域の方々に院内を見ていただきました。銀色の医院は窓ガラスが大きく、吹き抜けて、太陽の光が燦々と差し込みました。白い内壁に青いドア、「ホテルのロビーのようにしたい」という院長の提案でテレビは設置せず、静かな待合室でした。開院祝いにいただいたたくさんの観葉植物が待合室に飾られていたので、「植物園みたいだね」と言われました。



スタッフは院長、事務長、医療事務、看護師 2 人、検査技師と私の 7 人でした。医療事務の大場かおりさんと私は医療事務未経験だったため、通信教育で勉強し、レセコン（保険診療のためのパソコン）の使い方や患者さんの対応の仕方などの講習を受けて準備をしましたが、医院の完成が遅れたため十分な診療の流れの練習を行う時間がないまま、11 月 4 日の診療開始となってしまいました。初日は 33 人の患者さんが来院されましたが、全員が初診ですので、カルテ作りから会計までものすごく時間がかかってしまいました。12 時を過ぎても午前の診療が終わらず、昼休みもとれずに午後の診療時間に突入しました。待合室にオレンジ色の夕陽が差し込む時間になり、「そろそろ帰って夕飯、つぐらなんねなあ」と話す患者さん。長時間お待たせしてしまい、申し訳ありませんでした。院長の診察を受けた患者さんから、「やさしい先生だこど〜、わっがいね〜」と声をかけていただきましたが、当時の写真を見ると本当に若かった。(笑)



あれから 20 年、紙カルテは電子カルテに変わり、受付から診察終了、会計までの時間が短くなりました。患者さんの送迎を行ったり、物療室や点滴スペースの拡張、新しい医療機械の導入、駐車場の拡張など、いろいろと環境を整えました。最新の医療知識を得るため、職員には学会や研究会、講習会への参加や発表を推奨しています。また、地域の方たちと直接お話しできる地域懇談会や、保育園で手洗いとうがいの衛生指導などを行って、健康に関する啓もう活動もしています。現在のスタッフは 21 人で、半数が勤続 15 年超えのベテランです。これからも良質な医療サービスを提供し、地域に貢献できて、皆さんに愛される医院を目指し、努力してまいります。よろしく願いいたします。